

特別支援教育部会だより

部会の皆様には、ご多忙な毎日を送られていることと存じます。

今年度の研修は、昨年度のアンケート結果を基に、研修会前半は全ての分科会で「小グループでのレポート交流」を行い、後半は講演会を行います。南北に分かれての開催ですが、ほぼ同内容の講演を行っていただくことになっています。今年度も部会員の皆様のご協力を、心からお願いいたします。

研究課題	通常学級の個別の教育的配慮を要する児童生徒一人一人のニーズに応える教育的支援はどうあればよいか。
研究内容と キーワード	第1分科会「通常学級における、学習に困難のある児童・生徒への支援」 ・読み、書き、計算 ・学習準備の困難、忘れ物等 ・注意散漫、離席等
	第2分科会「通常学級における、社会性の発達遅れやコミュニケーションに障害があり、主に集団での生活場面に困難のある児童・生徒への支援」 ・ルールの理解 ・こだわり ・自傷、他害 ・破壊行為 ・被虐待児等
	第3分科会「通常学級における特別支援を要する児童生徒の校内支援体制や、関係機関との連携」 ・就学指導、進路指導（幼小中高の連携）・医療機関等の関係機関との連携 ・教育相談のあり方 ・担任、コーディネーターとしての役割 ・校内の支援体制

役員体制

- ・部長：大石篤史(東部小) ・副部長：吉崎真由子(大麻中)
 - ・事務局長：工藤正人(恵庭小) ・事務局次長：小泉しのぶ(大麻東小)
 - ・事務局員：岡本光恵(文京台小) 太田亜弥(野幌若葉小) 古山順子(恵み野中)
川崎真奈美(緑苑台小)
 - ・研究員：伊藤千織(当別中) 藤枝理恵(恵庭柏小) 西田幸子(野幌若葉小)
- ☆今年度もよろしく申し上げます。

実践交流レポート作成について

- ※A4版・両面印刷・横2穴・ページ数の制限なし（ページ番号は「学校名-番号-」で）
- ※部数など、詳細は次号でお知らせいたします。（7月上旬発行予定）
- ※「1人1レポート」が基本ですが、校内のグループや学年でまとめて一つにしても結構です。
- ※レポートの内容として・・・参考にして下さい。
- ☆児童・生徒の主訴に基づいた支援とその成果・課題 ☆実践上の行き詰まりや悩み相談
- ☆関係機関との連携や、医療機関・支援機関の紹介 ☆教材教具や書籍などの紹介
- ☆特別支援学級の先生は、「通常学級でも可能な支援方法」の実践例や紹介など

詳細の問い合わせは 事務局 工藤（恵庭小）まで

Tel (0123) 32-3288 Fax (0123) 32-3289